

(参 考)

長崎県カーネーションの生産状況

他の切り花との競合や輸入カーネーションの増加等により、平成元年をピークに国内のカーネーション生産量が減少している中で、本県産カーネーションは品質の高さが評価され、意欲的な生産がなされています。

長崎県における令和6年の産出額は8億円（全国5位）となっており、12,300千本（全国6位）が出荷されています（作付面積13.6ha）。

県内の主な産地は、諫早市、大村市、雲仙市、佐世保市で、各産地とも優れた栽培技術により高品質のカーネーションが生産されています。

※全国での順位等（令和6年）

(1) 栽培面積

順位	都道府県	栽培面積(ha)
1位	長野県	58.8
2位	愛知県	36.8
3位	北海道	23.5
4位	千葉県	15.0
5位	長崎県	13.6
6位	兵庫県	13.4
7位	福岡県	7.1

(2) 出荷本数

順位	都道府県	出荷本数(千本)
1位	長野県	36,500
2位	愛知県	31,600
3位	千葉県	16,700
4位	兵庫県	15,400
5位	北海道	14,800
6位	長崎県	12,300
7位	静岡県	6,820

※令和6年産花き生産出荷統計（農林水産省）

長崎県花き振興協議会の概要

県内市町、農業協同組合、花き市場、花き生産者等により構成された長崎県を代表する花きの組織。平成10年7月31日設立。本会として各種花き振興対策に取り組むとともに、6専門部会（カーネーション、洋らん、きく、鉢物、ばら、草花）と花き青年部を組織し、それぞれ活発に活動している。

長崎県花き振興協議会カーネーション部会の概要

県内カーネーション生産農家により平成10年に組織。県内の花き関係機関・団体等の協力の下、カーネーション新品種の栽培試験や消費拡大PR、全国の生産者との情報交換等の活動を積極的に行っている。

現在、16戸の県内生産者により構成されている。

令和7年度活動実績

○「母の日」に伴う長崎県知事へカーネーション贈呈、県庁花き展示

○JR長崎駅でのカーネーション配布（大塚製薬と協力）

○令和7年度長崎県花き品評会への出品

290点の出品の中から、開田浩幸氏（大村市）が農林水産大臣賞を受賞

母の日の由来

「母の日」にカーネーションを贈る習慣は、1908年にアメリカのアンナ・ジャービスという女性が、母の命日の5月9日に教会でこの花を配ったことから始まり、その数年後、第28代大統領ウッドロー・ウィルソンが「世界で最も良い母であるあなたの母に捧げる日」と名付けたと言われ、日本へは戦後入ってきた。